

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんあんさんぶるれねっと		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人アンサンブル・レネット		<a href="https://rainette.jp">https://rainette.jp</a>
代表者職・氏名	代表理事 寺田稚晴		
制作団体所在地	〒	543-0053	最寄り駅(バス停) 天王寺駅
	大阪府大阪市天王寺区北河堀町10番8-1001号		
電話番号	06-4305-0444		
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんあんさんぶるれねっと		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人アンサンブル・レネット		<a href="https://rainette.jp">https://rainette.jp</a>
代表者職・氏名	代表理事 寺田稚晴		
公演団体所在地	〒	543-0053	最寄り駅(バス停) 天王寺駅
	大阪府大阪市天王寺区北河堀町10番8-1001号		
制作団体 設立年月	1962年10月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 寺田稚晴 総務部長 小川悟史 企画・構成部長 藤村竜也		団体構成員37名。加入の条件:子ども・青少年のための音楽創造を目指すことを理念とし、専門家としての技術を有し、会員2名以上の推薦により総会の承認を得たときから取得する。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者置く	本事業担当者名	北川聖香
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	寺田稚晴
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:rainette@as.airnet.ne.jp">rainette@as.airnet.ne.jp</a>		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>・1962年10月 児童文学作家 華房良輔を中心にアンサンブル・レネットを発足。 「子どもに届ける舞台芸術は、プロの演奏家が子どものために創った作品を届けるべきだ。 子どもの作品に特化した楽団が情熱をもって作品創りに向き合うことが大切だ！」 との理念を受け継ぎ、創立62年経った現在も一貫して子ども・青少年向けの作品を創り届け続けている。</p> <p>・2023年5月 一般社団法人アンサンブル・レネットとして法人独立し、現在に至る。</p> <p>小学校や中学校公演を中心に、教育委員会関係のイベントや全国のおよこ劇場、劇場ホール、幼稚園で活動を展開し、現在までの総演奏ステージは約8000回を超え、総観客数は400万人にも及ぶ。</p> <p>&lt;厚生労働省 社会保障審議会 特別推薦児童福祉文化財&gt; 『アンサンブル・レネットの「台所狂騒曲」を含む音楽会～音楽で世界旅行～』(2014年)</p>																						
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>昭和37年より学校公演実績あり</p> <p>●直近</p> <p>令和4年度 「台所狂騒曲」 116公演 「天満のとらやん」 6公演 その他「バナナの大冒険」「まあるいもの探せ！」など36公演</p> <hr/> <p>令和5年度 「台所狂騒曲」 126公演 「天満のとらやん」 1公演 その他「バナナの大冒険」「まあるいもの探せ！」など30公演</p> <hr/> <p>令和6年度 (2024.9.25段階の決定している公演、予定も含む)</p> <p>「台所狂騒曲」 130公演 「天満のとらやん」 8公演 その他「バナナの大冒険」「まあるいもの探せ！」など40公演</p>																						
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>近畿圏内の養護学校や盲学校で実績あり。</p> <table border="0" data-bbox="395 1211 1353 1615"> <tr> <td>平成29年11月14日 京都府立盲学校</td> <td>昭和52年2月13日 西ノ京養護学校</td> </tr> <tr> <td>平成18年10月24日 京都府立盲学校舞鶴分校</td> <td>昭和50年11月10日 生野養護学校</td> </tr> <tr> <td>平成7年2月10日 茨木養護学校</td> <td>昭和48年2月7日 生野養護学校</td> </tr> <tr> <td>昭和59年11月14日 藤井寺養護学校</td> <td>昭和47年12月13日 難波養護学校</td> </tr> <tr> <td>昭和57年4月30日 生野養護学校</td> <td>昭和46年10月30日 難波養護学校</td> </tr> <tr> <td>昭和54年9月27日 生野養護学校</td> <td>昭和45年3月6日 貝塚養護学校</td> </tr> <tr> <td>昭和53年12月3日 西ノ京養護学校</td> <td>昭和44年7月7日 難波養護学校</td> </tr> <tr> <td>昭和53年9月28日 生野養護学校</td> <td>昭和44年5月21日 大阪府立盲学校</td> </tr> <tr> <td>昭和53年3月3日 松原市養護学校</td> <td>昭和39年11月15日 大阪府立盲学校</td> </tr> <tr> <td>昭和53年2月19日 西ノ京養護学校</td> <td></td> </tr> </table>			平成29年11月14日 京都府立盲学校	昭和52年2月13日 西ノ京養護学校	平成18年10月24日 京都府立盲学校舞鶴分校	昭和50年11月10日 生野養護学校	平成7年2月10日 茨木養護学校	昭和48年2月7日 生野養護学校	昭和59年11月14日 藤井寺養護学校	昭和47年12月13日 難波養護学校	昭和57年4月30日 生野養護学校	昭和46年10月30日 難波養護学校	昭和54年9月27日 生野養護学校	昭和45年3月6日 貝塚養護学校	昭和53年12月3日 西ノ京養護学校	昭和44年7月7日 難波養護学校	昭和53年9月28日 生野養護学校	昭和44年5月21日 大阪府立盲学校	昭和53年3月3日 松原市養護学校	昭和39年11月15日 大阪府立盲学校	昭和53年2月19日 西ノ京養護学校	
平成29年11月14日 京都府立盲学校	昭和52年2月13日 西ノ京養護学校																						
平成18年10月24日 京都府立盲学校舞鶴分校	昭和50年11月10日 生野養護学校																						
平成7年2月10日 茨木養護学校	昭和48年2月7日 生野養護学校																						
昭和59年11月14日 藤井寺養護学校	昭和47年12月13日 難波養護学校																						
昭和57年4月30日 生野養護学校	昭和46年10月30日 難波養護学校																						
昭和54年9月27日 生野養護学校	昭和45年3月6日 貝塚養護学校																						
昭和53年12月3日 西ノ京養護学校	昭和44年7月7日 難波養護学校																						
昭和53年9月28日 生野養護学校	昭和44年5月21日 大阪府立盲学校																						
昭和53年3月3日 松原市養護学校	昭和39年11月15日 大阪府立盲学校																						
昭和53年2月19日 西ノ京養護学校																							
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>																					
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/TJd7YmGmHqQ">https://youtu.be/TJd7YmGmHqQ</a></p>																					
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>																				
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>																				

別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人アンサンブル・レネット】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	世界の音楽を体感しよう～なんでも楽器にしちゃうぞ「台所狂騒曲」～			
企画のねらい	世界中にはいろいろな人種や言語があるようにいろいろな音楽があるということ、楽器でないものでも音が出るものならどんなものでも楽器になり、そこから音楽が生まれるということ、そして音楽と日常は密接につながっているということを伝える。広い視野を持ち、みんなで歌ったり踊ったりなどの身体表現を通して、協調性を育み、他者と理解を深め、共生社会への実現に繋がります。形にこだわらない柔軟な発想と、寛容な心を本作品を通して育むことが目的です。			
演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要】レネたん＆レネっぴが繰り広げる世界の音楽旅行をテーマに、音楽室にあるような子ども達に身近な楽器を使用して、世界の特徴ある音楽の合奏や歌、指揮者体験や楽器演奏体験など参加コーナーをふんだんに盛り込んだ内容。メインは世界中で一番知られているという「ハッピーバースデートゥーユー」を原曲とした「台所狂騒曲」。</p> <p>【演目選択理由】「台所狂騒曲」では、しゃもじやフライパンなどの身近な台所用品を使って演奏することにより、身の回りには音の出るものがたくさんあるということに気づききっかけになる。音の出るものならどんなものでも楽器になり、そこから音楽が生まれるということを子どもの心に真っ直ぐに届けられる作品であるため。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手拍子による演奏参加(全員):音楽の緩急に合わせて手拍子をし、ひとつの曲をみんなで創り上げる体験をします。</li> <li>・ボディパーカッション体験(全員):南米のリズムに合わせて全身を使ったボディパーカッションをし、自身の身体でリズムを奏でるといふ醍醐味を体感いただけます。</li> <li>・指揮者体験(児童2～3名程度):ステージに出てきていただき、指揮を体験をします。</li> <li>・台所狂騒曲(児童数名):演目中数カ所、出演者と共演していただきます。※会場全員が手拍子で参加。 「ドイツ風」→音楽に合わせてドーム型の蓋の縁を麵棒で叩いて音を出し、一緒に演奏します。 「サンバ風」→お菓子の空き箱で作ったシェイカーをサンバのリズムに合わせて振り、音楽の緩急を感じながら一緒に演奏します。</li> <li>・校歌を歌唱(全員):「台所狂騒曲」内で、校歌を楽団の生演奏に合わせて一緒に歌っていただきます。</li> </ul>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	会場収容人数内であれば制限なし	
		鑑賞人数目安	会場収容人数内であれば制限なし	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1.導入・・・・・・・・・・言葉遊びやリズム遊び</p> <p>2.旅立ち・・・・・・・・・・ホールニューワールド/A.メンケン(魔法の絨毯にのって世界の音楽旅行へ出発！)</p> <p>3.日本・・・・・・・・・・情熱大陸/葉加瀬太郎(TV番組テーマ曲)</p> <p>4.フランス・・・・・・・・・・ボレロ/M.ラヴェル(曲に合わせて各楽器の紹介)</p> <p>5.イタリア・・・・・・・・・・[小学校公演]フニクリ・フニクラ～おにのパンツ～/L.デンツァ [中学校公演]猫の二重唱/G.ロッシーニ</p> <p>6.イギリス・・・・・・・・・・威風堂々/E.エルガー</p> <p>7.アメリカ・・・・・・・・・・アメリカンパトロール/F.ミーチャム(2台のパレードドラムが活躍)</p> <p>8.アメリカ・・・・・・・・・・シンコペータッドクロック/L.アンダーソン(ウッドブロックなどの打楽器がたくさん登場)</p> <p>9.ドイツ・・・・・・・・・・《手拍子参加コーナー》ピア樽ポルカ/J.ベジボーダ(曲に合わせていろいろなリズムで手拍子)</p> <p>10.ロシア・・・・・・・・・・剣の舞/A.ハチャトゥリアン(マリンバの超絶テクニックが冴えわたる)</p> <p>11.ハンガリー・・・・・・・・・・《指揮者体験》ハンガリー舞曲第5番/J.ブラームス(児童代表2～3名が指揮者に挑戦)</p> <p>12.南米・・・・・・・・・・《ボディパーカッション体験》マンボNo.5/ペレスブレード楽団</p> <p>13.厚生労働省 社会保障審議会 特別推薦児童福祉文化財 多国籍ユーモアミュージック「台所狂騒曲」 原曲/ヒル姉妹 作曲・編曲/寺田ちはる 企画・制作/アンサンブル・レネット</p> <p>14.振り返り</p>			
		公演時間	80	分
出演者	フルート:北川聖香	歌手:小西潤子		
	マリンバ:西川夏代	打楽器:小川悟史		
	ピアノ/アコーディオン:寺田ちはる	コントラバス:藤村竜也		
都合により出演者が変わることもありますが、編成人数に変更はございません。				

演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	【寺田ちはる】JAA全国アコーディオンコンテスト2位。 AAA全日本アコーディオンコンテスト大阪21世紀協会賞。1993年アンサンブル・レネット入団。							
	【小川悟史】日本打楽器協会理事、関西打楽器協会理事。 2010年アンサンブル・レネット入団。							
	【北川聖香】第18回長江杯国際音楽コンクール第1位。第26回松方ホール音楽賞木管部門最高位。 2019年アンサンブル・レネット入団。							
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 6 名 スタッフ: 0 名 合計: 6 名		運搬		積載量: 1,25 t 車長: 4,695 m 台数: 2 台			
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	7:30	仕込み7:30～9:00/ ワークショップ9:00～12:00内 で80分		13:00～14:30	10	15:00～16:30	17時00分	
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認 します。(大幅な変更は認 められません)	6月		7月		8月		9月	
	10日		15日		15日		15日	
	10月		11月		12月		1月	
	10日		10日		15日		20日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		110日	

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



**会場の様子①**

体育館フロアに舞台を設置した場合は縦幅約6m、横幅全ての範囲を使用し、子ども達は舞台から約3m程度離れた場所を着席します。「台所狂騒曲」のセットは子供たちの集中力を削がないために舞台袖に黒布をかけて目隠しします。

**会場の様子②**

舞台上に設置する場合は、舞台全面を使用します。

**公演中の様子**

体育館フロアに舞台を設置した「台所狂騒曲」の上演の様子。  
舞台袖にセッティングしてある「台所狂騒曲」セットを奏者が直前のMC中に移動させます。

**参加コーナーの様子**

「指揮者体験」での様子。

※公演実施の際は体育館フロア・体育館舞台上どちらでも公演可能

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 一般社団法人アンサンブル・レネット 】

ワークショップのねらい	<p>同じ空間に居る相手を受け入れ、自身が抱えている感情を失敗を恐れずに言葉や行動で表現するきっかけとなるように、演劇的手法のみならず音楽リミックや楽器体験を含むワークショップなど、ジャンルにとらわれない多様な内容で取り組みます。子どもたちが互いを尊重し合い、仲間意識を深め、本来もっている創造性や協調性、自由な表現力を引き出すことでコミュニケーション能力の育成や、共生社会の形成に向けて参画意識向上にも繋がっていくことをねらいとしています。</p> <p>一度で演劇と音楽の二種類の芸術に触れることで、多角的な視点から本公演への興味・関心をたかめることができます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校生徒一同でも単学年でも対応可能
ワークショップ実施形態及び内容	<div data-bbox="422 689 1369 875" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p><b>ワークショップの実施形態</b></p> <p>体育館フロア全面を使用します。</p> <p>演劇だけではなく、音楽的要素を取り入れたワークショップです。</p> <p>※〈内容については別紙参照〉</p> </div> <div data-bbox="422 891 1077 1272">  </div> <div data-bbox="422 1288 1077 1736">  </div>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ参加時は身体を動かすため、体操服など動きやすい格好で参加してください。</li> <li>・会場は基本的には体育館で行いますが、体育館での実施が難しい場合はご相談ください。</li> </ul>		

リンク先

No.3

【公演団体名 一般社団法人アンサンブル・レネット】

**導入** 子ども達との会話により、コミュニケーションを図ります。

### インプロゲーム

- 【言葉送り（1人で）】
- 【レッツウォーキング（1人で）】
- 【ミラー&シャドウ（2人ペア）】
- 【キャッチボール（2人ペア）】



まず少人数での表現活動から始めることで緊張感を解き、複数のインプロゲームを経て想像力やコミュニケーション能力を育みます。

### マリンバ体験、ドラムロール体験

本公演で使用する楽器を実際に演奏することで、マレットやスティックから伝わる振動、奏者側に立った音の聞こえ方を体感します。



### 発声練習

発声に必要な姿勢や滑舌、腹式呼吸について学び、実践として校歌を歌います。誰もが持っている楽器「声」を使って表現力を育みます。



ワークショップ  
実施形態及び内容

### インプロゲーム

- 【1枚の写真（8～10人グループ）】

各グループごとにテーマに沿った1つのお題を決め、グループ全員で身体表現！グループ内でアイデアを出し合い、仲間と協力をして共通の目標を達成する能力を身につけます。



### リトミック

児童生徒、先生方、出演者、全員で一つの輪を作り、マンボNo.5の曲に合わせてケンケンバのステップを踏んだり、ブレイクをしてリズムを体感する。相手の表情や動きを見て感じとったり、音楽の緩急から想像力を膨らませたりする非言語コミュニケーションを同時に行うため、コミュニケーション能力の向上が期待できます。



**ふりかえり** 質問等を含めたワークショップでの振り返りを行います。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 一般社団法人アンサンブル・レネット】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>「生の舞台」では、普段電子機器を通して観たり聴いたりしているものとは全く異なるその場の空気感や音の振動、演者の表情など、その時間にしか生まれない感動を感じることができません。</p> <p>観たり聴いたりするだけではなく、子ども達にも一緒に舞台に立って体験していただくことで、その場の特別な緊張感や達成感を感じてもらい、これから歩いていく将来への希望や夢を抱くきっかけとなることを願っています。</p> <p>現代ではインターネットの普及に伴い、どんな情報やエンターテインメントも、見たいものを自由に選択し、時間や場所など関係なく見ることができます。便利な一方で、自身が見たことのないコンテンツやさまざまな芸術に触れる機会が圧倒的に少なくなっているのも現状です。</p> <p>本事業は、これからの将来を担う子ども達に親の意向や家庭の経済状況等に左右されずに「生の舞台」を体験することのできる非常に重要な機会だと考えています。</p> <p>これまで私たちは学校公演を中心に約60年、ひたむきに子ども向けの作品を創り、子どもの心を動かす公演を届け続けてきました。</p> <p>関西で草分け的存在である私たちの安定感あるステージを、大阪ならではのユーモアあふれる内容で、本事業を通して全国の子ども達に舞台芸術の楽しさと笑顔を届けたい！という強い思いがあります。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p><b>【学校との連絡調整について】</b> 事前に実施校の校長先生または担当の先生へご挨拶と今後の流れ、打ち合わせについてお電話にてご連絡をさしあげます。 打ち合わせ日までに、担当の先生宛にワークショップと本公演の流れ・内容など記載した打ち合わせ資料をお送りし、本事業の取り組み内容を共有します。地域毎の特性や学校の現状・各学校のニーズ等のヒアリングを行った上で、後日綿密な打ち合わせを行います。</p> <p><b>【実施にあたって】</b> ・実施校へ下見に伺えない場合でも、搬入動線、舞台位置、鑑賞位置など打ち合わせの際に聴取し、当日の搬入やセッティング、撤収を安全かつ円滑に遂行できる体制作りを努めます。 ・校内で先生方や児童・生徒へ接する際は、元気に笑顔で挨拶を行ったり、休憩時間も児童・生徒と過ごすなど、今回の出会いを大切に、コミュニケーションを図りながら信頼関係を築いていきたいと考えています。 ・ワークショップは本公演と同じ出演者が行いますので、心の距離を縮めた状態のまま本公演を迎えることができます。先生方にも積極的に関わっていただくことで、子ども達もより一層興味と期待感を持って参加、鑑賞することができます。</p> <p><b>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</b> 事前に必ずご意向をお伺いします。 音に敏感であったり、光が苦手、また皆と同じ空間での鑑賞が難しい児童・生徒には、別教室にてリモートでの参加・鑑賞等ができるよう配慮したり、他の児童・生徒がいないタイミングで楽器に触れたり奏者と話したりなど、各人に合った方法で柔軟に対応します。 さまざまな特性を持つ児童・生徒にも楽しく鑑賞していただけるように、五感全てを意識した演出をいたします。</p>

別添	なし
<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>【公演団体名 一般社団法人アンサンブル・レネット】</p>
	<p>①離島・へき地等における公演実績 2023年度「台所狂騒曲」11公演(学校巡回公演事業)</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>【離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫】 機材や楽器、舞台道具は器材車と乗用車に分乗を基本としていますので、一番大きなハイエースバン(器材車)が現地まで辿り着ける場所であれば、どんな所でも公演可能です。</p> <p>【小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫】 ・本演目は小規模会場での公演も実施できるように制作しています。 本公演、ワークショップ共に普段から少規模での公演も実施していますので、常に上質な内容をお届けさせていただく事ができます。 ・小規模な公演だからこそ、ひとりひとりと向き合うことができます。 公演日には給食を一緒に食べたり、お昼休みや空き時間などは学年関係なく皆で遊んだりして、子ども達とコミュニケーションを図ります。一緒に過ごした1日が子ども達にとって記憶に残る特別な日となるように全力で取り組みます。 ・会場の大きさに合わせた音響機材を使用しますので、質の良い音を届ける事ができます。 また、照明については団体所有の機材を使用するため、後ろの方に座っている子ども達にも舞台が暗くて奏者・役者が見えないという問題が起こらないように工夫をしています。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫 ・出演者は経験豊富なメンバーで構成し、経費を抑えつつ質の高い公演をお届けできるよう努めます。 ・楽器や道具の運搬、出演者の移動に関しては、基本的には器材車(ハイエース1台)と団員自家用車に分乗し、車の運転を出演者が兼ねることで旅費・運搬費の削減に努めます。 ・体育館での公演では必要な機材(照明・音響機材)は団体所有のものを使用し、設営に関しても演奏者自身で行います。</p>